

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	淡路こども園		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「本人主体」および「本人の意思決定を支援する」という考えのもと、日々の支援を行っている。	日頃からのコミュニケーションに加え、基本の理念や見方を職員や保護者と共有できるよう、相談や勉強会、研修等の確認の場を設けている。	保護者や職員と日頃からコミュニケーションを取り、情報提供も含めて周知徹底すること。
2	本人主体の支援と、きょうだいを含む家族支援を両輪とした取り組みを強みとしている。本人への支援を行うとともに、本人を中心に家族全体を視野に入れた支援を行うことで、保護者や家族の安心感につながっている。	本人のことはもちろん、家族のことについても日頃から相談に応じ、支援を行っている。こども園だけで対応が難しい場合は、教育・福祉・医療等の関係機関につなぐようにしている。	複合的な課題を抱えた家庭が増えているため、区役所や自立支援協議会で事例検討を行うなどして対応していきたい。
3	ライフサイクル支援の視点を持って支援している。	幼児期から学齢期、成人期と一貫して支援していくことの大切さを保護者に伝えたり、保護者会や卒園児の親の会も合同で行事や講演会、勉強会を行っている。	フォーマルな支援だけでなく、保護者同士で支え合うインフォーマルなつながりや、学び合いを積極的に応援していきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が行っている様々な支援や専門家も含めた相談、マニュアルに添った訓練等、保護者への周知が不十分で、知らない人にとって不公平である。	放デイは長年利用されている子どもや保護者が多いが、一番最初に話や説明をして、その後定期的に周知ができていないケースがあった。	新年度が始まった時にきちんと説明する機会を作り、全員(子どもや保護者、職員)に周知徹底する。
2	環境・体制の整備に関しては、建物の老朽化やエレベーターの未設置など、バリアフリーが部分的にしか整っていない。	施設の老朽化に伴う設備の故障や不具合については都度修理や買い替えを行っているが、見た目も含めて快適さには課題がある。	毎日の清掃や整理整頓に加え、定期的な安全チェックを実施している。あわせて、将来を見据えた全面的な設備改修工事を行う。
3	現状、送迎は限られた利用児にのみ実施している。しかし、多くのケースから希望が寄せられており、十分対応できていない状況である。	送迎については、車両数の不足や職員確保の困難に加え、利用児のニーズの多様化などの理由により、十分に対応できていない課題がある。	送迎に関しては個々のニーズを整理し、今後、車両の確保も視野に入れて可能な限りニーズに応えていきたい。